

●みんなの広場●

1月29日(月)、平成20年10月から行われる「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」(通称:DC)に向けての南三陸町推進協議会の設立総会と観光振興シンポジウムがホテル観洋で開催されました。

この協議会は、町と町内の産業団体、観光関係者で構成され、DCを契機として観光客の受け入れ態勢整備、誘致推進、人材育成などの仕組みづくりが継続的に進められます。また、観光資源の掘り起こしや、ふるさと観光講座を開講する予定です。設立総会では、キャッチコピー「汐風を食べてみませんか」が承認されました。

観光振興シンポジウムでは、基調講演とパネルディスカッションが行われました。

まず、「これからの観光を考える ～新しい時代の観光地域づくりに向けて～」をテーマに(株)東北地域環境研究室代表で、とうほく街道会議代表幹事や南三陸町ブランド塾々長などを務める志賀秀一さんの基調講演があり、志賀さんからは「いかに心に響くかが観光において大切で、関係者だけでなく地域ぐるみで取り組むことが必要。」などと話がありました。

続いて、南三陸町夢大使の及川龍治さん、農漁家レストラン「慶明丸」代表の三浦さき子さん、JTB東北交流文化事業部地域貢献推進部長の阿部昌孝さん、宮城県産業経済部観光課長の伊本廣一さんをパネリストに迎え、「魅力ある観光まちづくり ～仙台・宮城DCに向けて～」というテーマで意見が交わされ、「観光とは地域のみんなで作ってつくりあげていくことが重要」と締めくくりました。

デスティネーションキャンペーンに向けて  
協議会設立と観光振興シンポジウムを開催



パネルディスカッションでは、魅力ある観光について意見が交わされました。

【デスティネーションキャンペーンとは】

デスティネーションキャンペーンとは、JRグループ(JR東日本など6社)が一定期間、地方自治体とその地元観光事業者などで一体となって行う、広域的かつ継続的な大型観光宣伝事業のことです。通称で「DC」と呼ばれています。デスティネーション(Destination)は旅行などの目的地、行き先を意味し、キャンペーン(Campaign)は宣伝を意味します。

この事業では、開催地が観光資源の発掘や開発・大規模なイベントを展開するなどの受け入れ体制を整備し、JRが開催地を全国に集中的にPRすることで、全国から開催地への送客を行います。

このキャンペーンを契機として、地元の観光につながる資源を磨き上げ、民と官が一体となった、新しい観光の仕組みを作り上げることや、全国への宣伝による知名度アップ、大きな経済効果と地域活性化が期待されます。

宮城県では初めて行われるもので、開催期間は平成20年10月から12月まで3カ月の予定です。

宮城県選挙管理委員会表彰



千葉 弘さん (74歳 〇中在)

1月29日(月)、仙台市民会館で行われた第2回明るい選挙推進大会において、千葉弘さんが表彰されました。

千葉さんは、平成5年3月に歌津町選挙管理委員会の委員補充員に就任、平成11年4月から同委員会委員に就任され、常に公正な意思のもとに職務を遂行し、平成13年3月には同委員会委員長職務代理者に就任され、平成17年9月30日の閉町までの間、委員会の適正な運営等に尽力されるとともに、明るい選挙の思想普及に努められました。

■「みんなの広場」に掲載したい情報大募集!

「みんなの広場」のページは、地域で活動するボランティア団体やサークル団体、個人などを応援するためのコーナーです。団体の紹介や主催イベントの情報提供などを掲載しますので、掲載したい情報がありましたら、企画課までお問い合わせください。お問い合わせ 企画課 まちづくり推進係 電話46-1371内線223 FAX46-5348 Email machizukuri@town.minamisanriku.miyagi.jp



●ひとことインタビュー

西城 恵さん (志津川中学校2年)

南三陸吹奏楽祭でアルトサックスを演奏

姉が吹奏楽をやっていた影響もあって小学5年生からトランペットを始め、中学校の部活動ではアルトサックスを担当しています。

音楽は演奏者によって表現が変わるところが面白い。また、合奏はみんなと曲を作りながら、心を一つにすることができて良いですね。

ステージ最後の5団体合同の演奏では、「これが中学生としては最後の合同演奏」という思いが自然に込みあがってきました。

最高の演奏ができたと思います。

※南三陸吹奏楽祭は12ページに掲載。

庄内の風 ⑥

今回は、庄内町長からメッセージが届きましたので紹介します。

南三陸町の皆さん こんにちは



庄内町町長の原田真樹と申します。お互いに平成の大合併では2町での合併をした町として、南三陸町の皆さんが、今どんなまちづくりを考えているのかとても興味があります。

特に日本海側で暮らしている我々にとっては、

太平洋側の雪に悩まされることも無い、おおらかで明るい気候風土をいつもうらやましく思っていました。そんな中で合併後の貴町を訪れ、佐藤仁町長さんから様々な貴町の観光スポットをご案内頂きました。

歌津地区では、宿泊も出来る広大で素晴らしいサッカー場や野球場が集約された「平成の森」や世界最古の魚竜の化石が見られる「魚竜館」、また、志津川地区では伊達藩養蚕発祥の地としての「ひころの里」や大学の先生や学生とともに海を通した自然を学ぶ「自然環境活用センタ

ー」、「神割崎オートキャンプ場」や「サンオーレそではま」など数多くの海や山の自然や歴史を活かした施設に感動しました。これだけの観光施設を有する町は全国的に見ても数少ないことは間違い無いと思います。今後の交通アクセスの進展や、大都市仙台圏、石巻、気仙沼といった人口の集積地や全国をターゲットにした観光振興は今後のまちづくりにおいて限りなく有利に展開できると思います。

本町も、これからの時代は国や県を巻き込んだ観光交流を中心としたまちづくりが必要と考えていますが、その観点で貴町を見ると合併によって旧2町の魅力と可能性が大きく膨らんでいると強く感じます。

これからが真の市町村の知恵比べが始まります。これまでの貴町の魅力をさらに磨き、大きく発展されることをご期待申し上げると共に、友好町として本町と、今後の交流をさらに活発にしながら末永くお付き合いを宜しくお願いいたします。

庄内町長 原田 真樹

夢大使  
リレー通信 ⑧



夢大使  
はし だて とし江さん (千葉県習志野市)

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、画家の外立とし江さんです。

人おののの  
運命に生きる人生なれば  
心おおらかに  
過ごさんものを  
(天風)

皆さまお元気ですか。私はこのごろ時間があれば本を開きます。そこには知識や感動が溢れています。今生きている(生かされている)ということを実感に考えているようになったのは、年齢の所為でしょうか。一度限りの人生を、どう生きるか、私なりに少しこたえが出てきたように思います。

先ごろ、千葉と鎌倉の友人夫婦が別々にですが、志津川方面へ行ってきましたと嬉しそうに報告して下さいました。大島や神割崎に行き、料理も人情にも大満足だったとのこと、私まで嬉しくなりました。私の近況報告になります。5月に大阪で行われる世界アー展、7月末には新宿伊勢丹で4回目の個展が決まっています。

事あるごとに南三陸町の素晴らしい景色を伝え、夢大使として少しでもお役に立てればと思っています。私の中に流れている故郷の香りは伝わるでしょうか。志津川で生まれ育つこと、本当に幸せに思います。

心おおらかに